

家庭科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
				<ul style="list-style-type: none"> 初めての教科なので興味関心は高い。一方、技能の習得に時間がかかる分野もあり、根気強さや、試行錯誤することに課題が残る。家庭科用語を知らないことも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の仕事の面倒くささにも気づき、意欲が低下しがちである。振り返ると、結果報告になってしまうことが多く、過程を見て課題や改善点に気付いて、表現することが苦手である。

2 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能					<ul style="list-style-type: none"> 教科書の徹底活用 家庭科用語を授業で積極的に使い、理解して使えるようにする。ICTを活用したり実演したりして、基礎・基本の技能を見せることで忠実に身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の徹底活用 自分の家庭生活を振り返る課題を課し、家族や家庭、衣食住、消費や環境の状況を捉える。ICTを活用したり実演したりすることで模範例を示し、よりよい生活にするために知識や技能を習得させる。
判断・表現 思考・					<ul style="list-style-type: none"> 問題を見出して課題を設定したり、よりよくするための工夫を考えたりできるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 計画や実践を通して、工夫したところや実践を評価したり、改善したりすることを表現する。
主体的に学習に取り組む態度					<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。自分でできることが増える楽しさを覚え、自信を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人々とのかかわりを考え、家族の一員として役に立ったり、周囲の人々を大切にするために生活を工夫したりする実践的な態度を養う。

※太枠内は、特に重視する内容